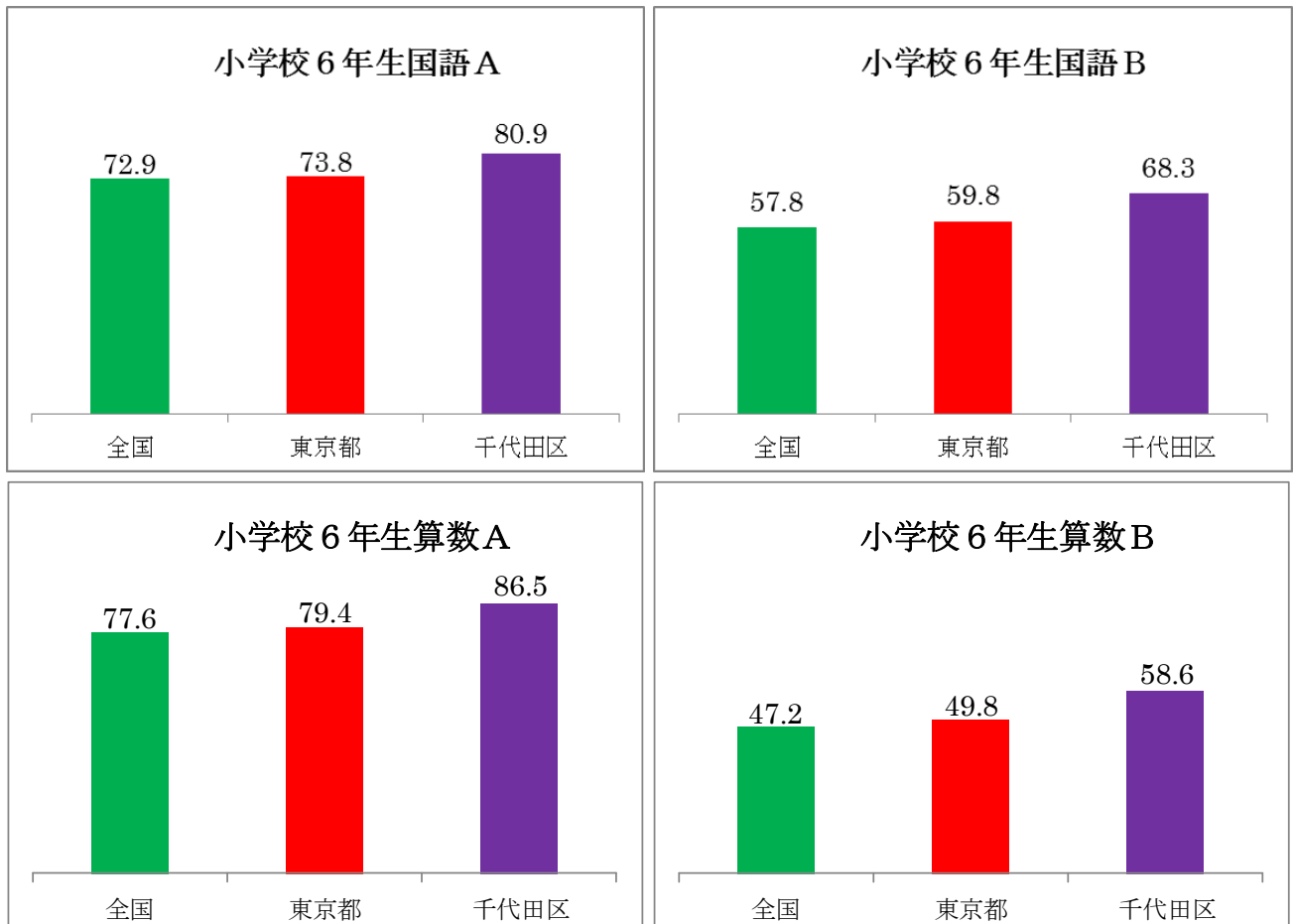
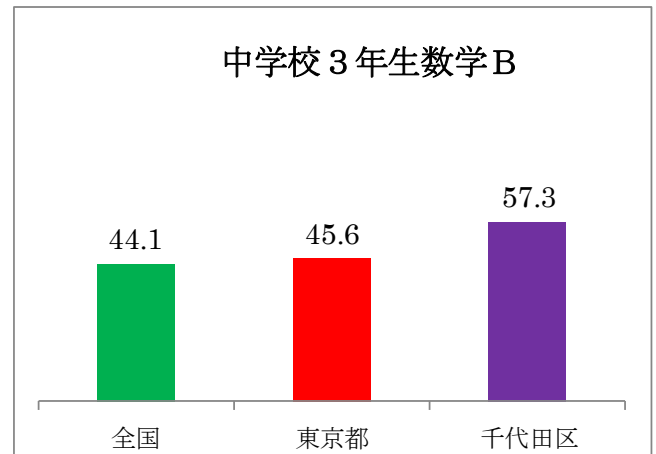
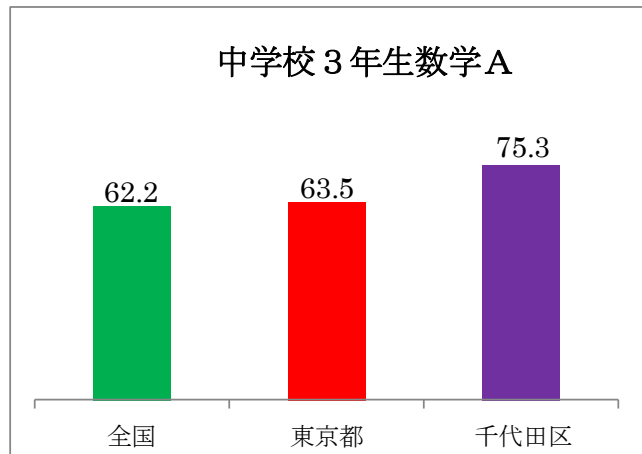
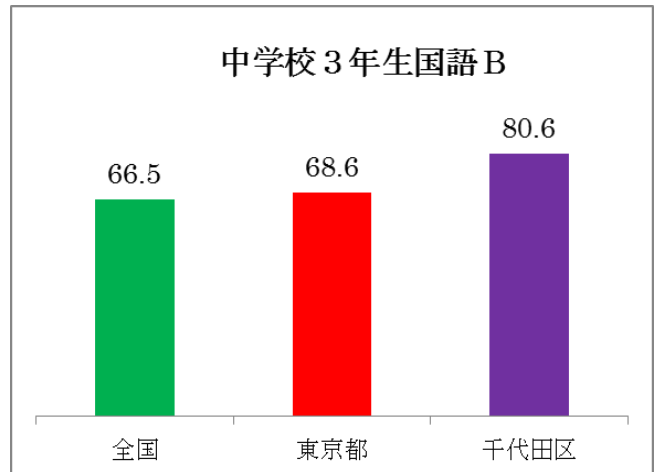
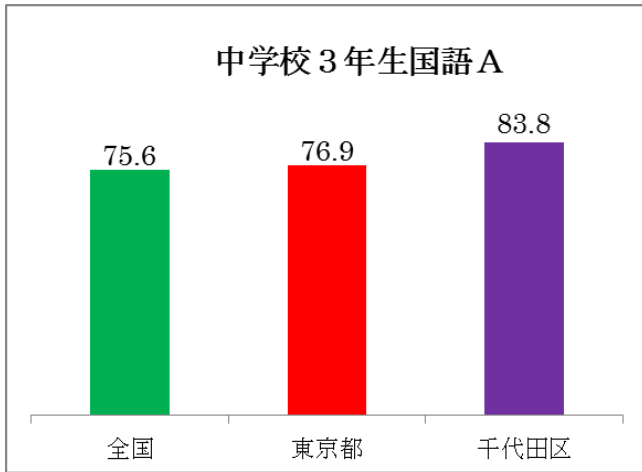


平成28年度 全国学力・学習状況調査の結果

- 1 実施日 平成28年4月19日(火)
 - 2 対象学年 小学校第6学年在籍児童 国語・算数
中学校第3学年在籍生徒 国語・数学
- ※ A問題は主として知識、B問題は主として活用を問う問題

数値は正答率(%)





- 小学校、中学校とも、国語A、国語B、算数A、算数B問題において、東京都は全国を上回り、千代田区は、東京都を上回っている。
- 小学校では、国語Bで8.5ポイント、算数Bで8.8ポイント東京都の正答率を上回り、中学校では、国語Bで12ポイント、数学Bで11.7ポイント、東京都の正答率を上回っている。
- 昨年度と同様、国語、算数とも基本問題のA問題よりも、活用問題のB問題の正答率が下がる傾向にあり、各校において児童・生徒に身に付けた知識を活用できる力を育成することが課題である。
- 小学校では、国語の書く力が全国、東京都の正答率を大きく上回っており、日頃の書く指導の成果が表れている。国語の知識問題では、ローマ字の正答率が低めで、全国、東京都をわずかに上回っているにとどまった。算数については、概ねどの問題も全国、東京都の正答率を上回った。
- 中学校においても、国語の書く力が全国、東京都の正答率を大きく上回っており、日頃の書く指導の成果が表れている。数学については、概ねどの問題も全国、東京都の正答率を大きく上回ったが、グラフの傾きについて考える関数の問題については、全国、東京都をわずかに下回った。